

【全日制】平成31年度赤穂高等学校学校教育目標および評価項目

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）			
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の特徴を明確にし、相互の協力をはかるとともに、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。			
		今年度目標			
		(1)全教職員が生徒の主体的な学習意欲を喚起する授業づくりを心がける。到達目標や資格取得など具体的な学習目標を意識づけ、個々の進路実現に向けた学習活動を支援する。			
		(2)生徒が自己理解・他者理解を深められるよう、学校の教育活動全体を通じて人間性の育成を目指す。互いの人権を尊重し合う態度を育て、いじめや体罰のない安全・安心な学校をつくる。			
		(3)地域との連携に積極的に取り組み、地域理解や地域貢献の気質を育てる。地域に愛される学校と人材の育成を目指し、生徒・保護者・職員が力を合わせる。			
領域	対象	評価項目	評価の観点		
教育活動	教育課程	現行の教育課程の問題点等を検討する。 新教育課程の研究を行う。	入試動向や、本校生徒の実情に合致した教育課程であるかを、検討できたか。 新教育課程の研究を行うことができたか。		
	進路指導	進路指導	(1)主体的な進路選択と個に応じた進路実現を支援する。 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化を図る。	(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。	
		キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進する。	キャリア教育の推進ができたか。	
	学習指導	生徒の学習活動の充実と学力向上を目指す。	(1)補習・特編授業・実力テスト等について教科・学年・係間の連携・調整ができたか。 (2)「学習活動の記録」「学びの基礎診断」「総合的な探究の時間」について教科・学年・係等の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を検討できたか。		
	人権平和教育	よりよい社会の実現に主体的に取り組む生徒の育成を目指し、学校生活のあらゆる場面において人権平和学習を推進する。	(1)全校の取り組みとして憲法学習・平和学習・人権学習を実施できたか。 (2)各学年の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を検討できたか。 (3)道徳教育の全体計画を作成できたか。		
	図書	(1)本に興味を持ち、自主的に読書ができる環境を整える。 (2)教科指導や進路指導などに役立つ、資料・情報提供と支援を行う。	(1)新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2)生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。		
	視聴覚	(1)芸術(音楽)鑑賞を通じて、芸術に触れる姿勢や態度を育成する。 (2)情報モラル教育を推進する。	(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2)教科(情報を中心とする)や特別活動を通じて、情報モラル教育を推進できたか。		
	生徒指導	(1)挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2)公共施設等でのマナー・モラルの推進を図る。 (3)生徒が安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4)人権教育の推進を図る。	(1)挨拶や身だしなみに自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)乗車・自転車マナーなど登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に早期に対応し、毅然とした態度で対応ができたか。		
	教育相談	(1)様々な課題を抱える生徒への対応を行う。 (2)いじめが起これないような体制作りを目指す。 (3)学年会や関係の係との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (4)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)①課題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会・関係の係としっかり連携がとれたか。 (2)生徒への啓蒙活動や情報の収集ができたか。 (3)定例の会議等で、生徒の状況把握ができたか。 (4)スクールカウンセラーや医療機関など、外部との連携がとれたか。また校内で協力し、支援ができたか。		
	生徒会	(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3)地域やPTAとの連携。	(1)生徒会活動を通じて、生徒に成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率、および活動実態は良好であったか。 (3)地域やPTAとの交流の機会を積極的にもつことができたか。		
	美化	(1)校舎内外の美化。 (2)ゴミの分別を徹底する。	日々の清掃活動およびゴミの分別やその周知が適切に行われたか。		
	保健	身体と健康に関心をもち、自分で健康管理をし、正しい健康行動が取れる事を目指す。	(1)生徒健康診断が適切に行われたか。 (2)正しい健康情報の提供ができたか。		
	学校運営	教務	庶務	(1)各分掌と連携を取り、諸行事・事業の遂行を図る。行事や事業の見直しを行い、授業と行事等のバランスを図る。 (2)設備などの不具合を改善し、安全かつ充実した学習環境を整備する。ICT等情報機器の授業活用など授業改善にも努める。 (3)いじめ、高大接続、特別支援他、今日的課題に対応するため、各係と連携し職員研修を企画する。	(1)反省・要望を踏まえ、時事に沿った企画の立案であるか。行事後に反省点を確認し、次年度に向けた改善箇所の検討を行うことができたか。 (2)学習環境の充実とICT等を活用した授業づくり、アクティブラーニングなどへの支援ができたか。 (3)生徒の学校生活や進路支援に向けて安全・安心、信頼できる学校運営ができたか。
			広報	(1)学校行事や生徒の様子を各紙面、HPを通じて積極的に発信し、保護者、地域、中学生などへの理解推進に努める。 (2)情報資産の整備・管理のためにネットワーク内の情報を整理し、不要なデータ等の削除を行う。(漏洩や不正使用防止)	(1)発信した情報、公開した情報等において表現等が適切であったか。 (2)学校の業務に必要とされるデータの整備保存が行われているか。不必要な過年度のデータ等が保存されていないか。
防災			(1)発災を現実的なものと想定し、生徒および職員の具体的な行動を設定し、日々の防災意識を高める。 (2)校内環境の危険箇所などを把握し、安全な学校づくりに努める。	(1)各種有事(自然災害、火災、他)における対応について、生徒・職員が行う対処方法等の知識と訓練などを通して浸透できたか。 (2)危険箇所等に関する実態を把握し、対応および改善できたか。	
予算施設		(1)教育活動の充実のため、学校予算の運営を検討協議し、適切な予算の執行を行う。 (2)校内施設や設備の管理・運営について協議推進し、安全かつ教育効果を向上する設備への改善等を検討する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。		
学校運営		学校運営上の課題を明確化し、将来に向けての学校のあるべき姿を検討する。	学校目標を基に、中長期的観点における諸課題を明確化し、職員の問題意識や外部からの指摘等を踏まえ学校のあるべき方向性を検討することができたか。		
P T A		(1)PTA活動の円滑な運営を行う。 (2)多くの保護者の参加・協力の促進。	保護者と職員が協力して、生徒のための活動ができたか。		
同窓会		「高校改革」に関する同窓会の取り組みとして赤穂高校の将来像を考える2年目にあたり、学校と歩調を合わせて検討していく橋渡しを事務局で努めていく。	赤穂高校の将来像について十分に意見交換できるよう事務局として努めたか。事務局として、学校と同窓会との橋渡しができたか。		
学校評議会		学校評議会を効果的に運営する。	学校の諸課題を学校評議員と共有し、学校外部からの客観的な意見や要望を学校運営に生かすことができたか。		
安全衛生		教職員の健康管理と職場環境改善に努める。	健康診断・人間ドックの全員受診、ストレスチェックの全員実施ができたか。		
高大接続研究		大学入試制度変更への対応を検討する。	大学入試制度変更について、具体的な対応策を講じることができたか。		